



岡山市連合町内会会報

第 33 号

平成31年3月発行

発行人：久世英一 編集委員長：長門修二

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 TEL:086-803-1063 FAX:086-803-1872

ホームページ簡単検索

岡山市連合町内会会報

検索



岡山市町内会長等懇談会



岡山市連合町内会

会長 久世 英一

春分の季節、町内会関係者各位におかれましてはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成31年2月10日(日)岡山ふれあいセンターにおいて岡山市町内会長等懇談会を開催しました。

お忙しい中、市内の町内会関係者、地域の安全・安心に携わっている方々にご参加いただき、大森市長のほか、多くの来賓の方々にもご臨席を賜りました。

本懇談会は、岡山市連合町内会の活動状況を町内会長等の方々に広く知っていただくとともに、相互の理解と連携を深めるために開催しており、今回で12回目の開催となります。

また、日頃から長年にわたり地域活動にご尽力され、れんげ賞を受賞された方々には心からお祝い申し上げます。

授賞式の後、大森市長よりお言葉をいただき、私たち地域活動に携わるものにとって、【共助】の言葉が大切だと思いました。

活動紹介では、スクリーンを使って岡山市連合町内会の活動報告があり、参加された皆様に連合町内会の活動がわかってもらえたと思います。

今回は、昨年とは違い、大ホールと小ホールに分かれ、大ホールでは、北区と東区の活動報告を行い、その後「平成30年7月豪雨を経験して～私たちの身はどう守るか～」をテーマにパネルディスカッションを行い、小ホールでは、中区と南区の活動報告を行い、その後「これからの町内会～活力ある町内会になるには～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

各区代表のパネリスト及び行政の担当者の皆様により、活発な討論がありました。パネラーの皆様ありがとうございました。時間が短く少し物足りなかったかと思いますが、有意義なパネルディスカッションになったと感じました。

皆様からいただいた感想はこれからの連合町内会活動に役立てていきたいと思っています。また、いただいた質問は、行政等とも協議し、できるだけ早く回答します。

これからも包括的な住民組織として、安全・安心な地域社会の形成、構築、維持に向かって進んでまいりたいと思っています。今後とも町内会、連合町内会へのご協力をお願いします。



大ホール・パネルディスカッションの様子



小ホール・パネルディスカッションの様子

会報第33号 目次

町内会長等懇談会	1	コラム 富山・大宮	10
北区（北区連合町内会長連絡協議会研修会）	2	福田・芳田	11
中区（中区町内会長等懇談会）	2	出石	12
東区（東区連合町内会長懇談会）	3	教育委員会との懇談会	13
南区（防災研修視察）	3	危機管理室との懇談会	13
会員視察研修（松山市・今治市のまちづくり）	4	電子町内会に参加してみませんか	14
全国自治会連合会東京大会及び常任理事研修	5	全国女性自治会長情報交換会に参加して	14
新春互礼会及び市政・活動報告会	5	岡山市連合町内会の動き	15
姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会	6	岡山県自治会連合会の動き	
岡山県への要望	6	全国自治会連合会の動き	
学区・地区の話題 清輝・加茂	7	クイズ	16
財田・御休	8	編集後記	16
第二藤田・小串	9		

北区 北区連合町内会長連絡協議会研修会

北区連合町内会長連絡協議会
理事 加藤 公彦



12月22日、サンビーチ OKAYAMA で北区連合町内会長連絡協議会による研修会が開催されました。岸本会長のあいさつに続き、「平成30年7月豪雨から共助を考える」と題して危機管理担当局長 田中利直氏による講演が行われました。要点は以下のとおりです。

- 自分達の住んでいるところの成り立ちや過去の災害を知ることが大切です。岡山市の特徴として平野部については、河川の沖積作用によって形成され、16世紀末からは干拓事業によって急速に面積が拡大しております。災害は情報が重要ですので、NHKのdボタン等により各自が防災情報の確認をお願いします。
- 「避難」とは安全な場所に逃げることで、まずは自分の命を守る行動をとることが一番です。迅速な避難のためには避難所までの経路を見直す必要があります。災害前後もまずは自助が重要で、災害が起きるまでにどれだけの準備をしていたかが重要です。
- 災害での公助には限界があり、地域で協力する体制づくり、共助が地域防災の中核をなします。ぜひ自主防災組織を立ち上げていただき、少しでも被害軽減につなげてください。

今回の講演を聞き、共助・防災力について参加者の皆様の見識を深められたと思います。



講演の様子

続いて、岡山市連合町内会 久世会長より活動報告があり、閉会となりました。

中区 中区町内会長等懇談会

中区連合町内会連絡協議会
会長 徳田 忠顕



平成30年11月2日(金)岡山市中区役所において、中区町内会長等懇談会を開催いたしました。当日は、ご多忙中にもかかわらず中区町内会関係者、地域関係者多数ご参加いただきました。

高橋中区長より、町内活動をはじめとした地域活動をしておられる方々に感謝と励ましのお言葉をいただきました。

各連合町内会の活動発表は事前に調整し、本年は5連合町内会から発表をいただきました。

最近の各連合町内会の課題の高齢社会に関する福祉事業、防災対策の充実、女性の社会進出による待機児童問題、地域連携の強化等がスクリーンを使って平井・旭操・宇野・操南・操明学区より報告があり、活発な意見交換がなされ、参加された皆様に活動がおわかりいただけたと思います。いずれの報告も地域への愛着と誇りにあふれ、意義のある懇談会であり、参加者の皆さんに厚くお礼申し上げます。



懇談会の様子

参加者の意見を参考に、平成31年2月10日(日)岡山ふれあいセンターで開催された岡山市町内会長等懇談会で、宇野学区が中区代表として発表いたしました。

これからも、中区町内会の情報交換及び相互理解と連携強化、課題解決に共同であたり、住みよいまちづくりに努めて参りますので今後とも町内会、連合会に格段のご協力をお願いいたします。

岡山協立病院 透析センター



地域の要望に応え、2017年10月にリニューアルオープンしました。病床数は35床へ増床。「ゆったりとした空間」で快適な療養環境を提供し、要介護者、寝たきり状態の方にも対応します。

暮らしの中で困ったときは、
「なんでも相談窓口」をご利用下さい。

例えば？

- どこに相談してよいかわからない。
- 医療費のことで相談したい。
- 医療・福祉・年金・保険(社会保障制度)制度を活用したい。
- 介護のサービスを利用したい、制度を知りたい。
- 退院後の療養生活についての不安。

まずは事前に、お電話で問い合わせ・相談下さい。

Tel. 086-271-0976 (受付時間：月～金 9:00～16:00)



岡山医療生活協同組合

総合病院 岡山協立病院

〒703-8511 岡山市中区赤坂本町8番10号
Tel.086(272)2121 Fax.086(271)0919
ホームページ: <http://www.okayama-kyoritsu.jp>
E-mail: kyoritsu@okayama-health.coop



東区 東区連合町内会長懇談会

東区連合町内会連絡協議会
会長 伊永 高明



12月18日、東区役所において、岡山県備前県民局建設部から7名の職員が出席し、東区内の連合町内会長と砂川の災害復旧事業と河川激甚災害対策特別緊急事業の説明会が行われました。

7月の豪雨災害を受けた砂川の改修事業の説明と質疑応答が行われ、この説明の中で、工事区間や川幅の拡張、堤防の強化などを今年度から6年間の事業として実施していくとの説明がなされました。

この説明に対し、連合町内会長からは、工事のスピードアップや工事終了後の河川の維持管理、今回の事業の該当区間以外の砂川についても河川改修を促進してもらうよう意見が出されました。

この砂川改修の問題は、一つの地域の問題ではなく、東区全体の問題として取り組んで行くことで合意しました。

県民局の説明会に引き続き、岡山市東区役所との懇談会が行われました。

この懇談会へは、危機管理室も出席し、7月の豪雨災害を受けて、防災対策について意見交換が行われ、連合町内会長から岡山市の各部局との調整はどの部局が行うのかなど多くの意見が出されました。

この他、東区役所関係では、平島地域の農地の復旧、水門の管理について、また交通問題など多岐にわたる問題点について意見交換を行うことができました。



懇談会の様子

南区 防災研修視察

南区連合町内会連絡協議会
副会長 樋口 正信



10月15日、南区連合町内会連絡協議会委員他13名による防災研修視察を実施しました。

始めに総社市のアルミ工場の爆発現場を車中から見学し、その後真備町の被災地へ行き、末政川、真谷川及び小田川の決壊箇所の状況を確認しました。住宅団地や真備の家並みを見るにつけ家の壁は落ち、無人の家と農地は草ぼうぼうで災害のひどさを感じました。

午後からは場所を移し、西日本集中豪雨の被害及び国の復興支援対策等についての研修会を行いました。

その後、上道公民館に移動し、砂川の堤防決壊による被害状況の説明を聞きました。中村平島学区連合町内会長の説明によると、真夜中に避難指示が出たが、床上浸水のため身動きが取れず、その上、家庭内の電気器具がショートして停電し、テレビや電話は不通となり、連合町内会長として何もできなかった。災害の情報収集や会員への連絡をどのようにすればよいのかを、日頃から検討する必要がありますとの提言がありました。

その後、平島地区の堤防決壊場所を案内いただきました。

対応して下さった関係者の皆様におかれましては、災害後の大変な中、ご親切な説明をいただき大変感謝しております。日頃の対策の必要性を切に感じ、今後の防災訓練等に生かしていく所存です。



真備町の被災地の様子

医療法人おおぞら会 同仁病院

岡山県北下伊福上町15-7
Tel: 086-252-2661

診療科: 内科・循環器科・胃腸科等
特定健診・企業健診・各種予防接種等
往診・介護サービスのご相談承ります

地域に密着し、患者様に寄り添った医療を展開しています。

血液透析 腎臓内科 糖尿病内科 消化器内科 皮膚科
心療内科 循環器内科 整形外科 リハビリテーション科

医療法人 天成会
小林内科診療所
院長 原口 純一郎

☎ (086) 岡山市北区青江5-1-3
226-5022

診療時間
午前9:00~12:30 月 火 水 木 金 土
午後3:30~6:00 月 火 水 木 金 土
休診日/祝日・日曜・木曜・土曜午後
※診療科目によっては完全予約制をとっておりますのでお問い合わせ下さい

通院時間
午前8:00~ 月 火 水 木 金 土
午後1:00~ 月 火 水 木 金 土
午後5:00~ 月 火 水 木 金 土
休診日/日曜・火曜・木曜・土曜午後
●夜間透析有 ●多用途透析装置(ON-LINE-HDF)有
<http://tenseikai-aoe.or.jp/>

飛岡 ひおか 内科

受付時間 月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:30 ○ ○ ○ ○ × ○ ○ ×
16:00~18:00 ○ ○ ○ × ○ × × ×

往診・在宅医療の実施
岡山市北区中山下 2-8-20
(086) 233-1188

会員視察研修（松山市・今治市のまちづくり）

岡山市連合町内会
常任理事 伏見 公誠



10月22・23日と会員視察研修で四国に渡りました。
総勢38名、バス2台での研修となり、初日は、重要文化財に指定されている内子座を見学して、午後から愛媛大学内の農学部教室で、「松山市桑原地区まちづくり協議会」にお話を聞きました。

以前は、公民館が地域の中心的役割を担い、町内会費も集めていたそうですが、文教施設ということもあって出来ない活動があることから地域で話し合い「桑原地区まちづくり協議会」を立ち上げたそうです。

排他的な組織にならないために、各団体に上下関係を作らないようにして情報や目的の共有による新しいつながりや地域性を生かしたまちづくりを進めています。

このまちづくり協議会は愛媛大学から公認サークルとして認められており学生も多数活動に参加していました。

2日目は、今治市連合自治会の皆さんと懇談し、全世界で「黄色い旗運動」を展開しSOS発信が出来、助け合える地域を目指している地区や、廃油（食用油）の回収に力を入れている地区もありました。

また、バリククリーンと呼ばれるゴミ処理施設が平成30年4月から稼働しており、甲子園球場と同じくらいの敷地のなか、避難所としての機能や住民も使える研修室、多目的室等も備え、自慢の施設となっています。

ただ、受け入れ時に自治会長が、一軒ずつ説明に回られる苦労があったそうです。

岡山でも現在進められていますが、今治市連合自治会でも、今治市と宅建協会等と協定書を締結し、協力しながら自治会加入を促しています。

岡山に持ち帰ってすぐに取り込めることもあれば時間が掛かりそうなこともありましたが、「私たちのまちは私たちの手で良くしていこう」という基本理念は皆同じであることを感じさせられた2日間でした。

午後から、^{おおやまつみ}大山祇神社参拝と^{くるしま}来島海峡の潮流体験を行い帰路につきました。



桑原地区まちづくり協議会



内子座



今治市での研修



今治市での見学（集合写真）

社会福祉法人 鷺山会
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
岡山シルバーセンター
〒701-1345 岡山県岡山市新庄上545-1
TEL 086-287-5111 FAX 086-287-5005
岡山シルバーデイサービスセンター
岡山シルバー在宅介護支援センター
ケアハウスゆうすてい岡山

JA岡山
地域に密着し、
地域に根ざし、
地域とともに歩む。
JA岡山は地域貢献活動に取り組んでいます。
岡山市農業協同組合
〒700-8535 岡山市北区大供表町1番1号
TEL. 086-225-3251 / FAX. 086-225-9878
URL: <http://www.ja-okayama.or.jp/>

「淳風誠心」～人にやさしく、心をこめて～
社会福祉法人 淳風福社会
<http://junfuku.jp>
若宮園・若宮の杜 TEL (086) 281-0862
〒701-0206 岡山市南区箕島3566-1
淳風ライフケアポート TEL (086) 252-5050
〒700-0072 岡山市北区万成東町2-28



さくらホール江並
岡山市中区江並88-1
☎086-277-1110



さくらホール十日市
岡山市北区十日市西町9-15
☎086-237-1234



さくらホール岡山駅前
岡山市北区駅元町5-1
☎086-898-1234



さくらホールきびつ
岡山市北区西辛川425
☎086-284-4500



さくらホール上道
岡山市東区中尾380
☎086-278-0001



西大寺さくら亭
岡山市東区久保161
☎086-943-8000

簡単検索 さくら祭典 検索

地元で生まれた
さくら祭典

昨年オープンしました!!

全国自治会連合会東京大会及び常任理事研修

岡山市連合町内会
常任理事 遠藤 太郎



日 時 平成 30 年 11 月 14 日～ 15 日
場 所 東京都港区メルパルクホール 他
参加者 岡山県 17 名

11 月 14 日 式典

全国の自治会から、約 1,000 名の方々が集まり、お互いに抱える課題を共有・理解し、解決に向けた研修や情報交換を進めること等を目的として、大会が開催されました。

安倍晋三内閣総理大臣のメッセージ披露や小池百合子東京都知事による来賓祝辞の他、大会宣言の採択、全国自治会連合会会長表彰等が行われました。岡山県自治会連合会からは 5 名が受賞しました。

第 4 部では東京都町会連合会から、3 つの自治会連合会による事例発表が行われ、墨田区からは、住民に対して行ったアンケートの結果の報告がありました。足立区からはプロボノプロジェクトを利用して、自治会加入用のリーフレットを新しく作成した事業が説明されました。最後に立川市自治会連合会による、自治会会員への福利厚生の支援として「絆」カード事業の取り組みが紹介されました。絆カードを持っていれば、地域内の商店での割引などのサービスが受けられます。また、毎年加盟店の地図の配布も行っています。

第 5 部の交歓会では、全国の自治会の方々と交流を行いました。

11 月 15 日 (常任理事構成員による研修)

翌日、東京オリンピック 2020 晴海選手村予定地や、カヌー・スラローム会場予定地の視察及び築地場外市場の見学等を行いました。



式典



選手村視察

新春互礼会及び市政・活動報告会

岡山市連合町内会
常任理事 岸本 戴男



平成 31 年 1 月 9 日、ピュアリティまきびにおいて、岡山市連合町内会新春互礼会及び市政・活動報告会が開催されました。来賓として、宮武議長、田尻副議長、市側から大森市長、那須・加藤両副市長、江田局長、井上次長のご臨席を賜り、約 80 名が出席し開かれました。

久世会長より、「豪雨災害により、地域の共助がいかに大切かを再認識し、今まで以上に向う三軒両隣の精神で助け合っていける地域をめざし、地域課題解決の為に行政への提案や協力を行っていききたい。」と挨拶がありました。

次に連合町内会会員の方々の様々な賞の披露と花束贈呈があり、宮武議長から来賓の挨拶を頂きました

大森市長からは市政報告があり、周りを見ずに我武者羅に突き進む「猪突猛進」ではなく、周りを見て我武者羅に行動して結果を出す、「猪突躍進」の年にしたいと話をされました。いくつか紹介します。

☆単位町内会でも自主防災組織を結成できるようにしたい

☆小中学校にエアコン設置を進めていく

☆岡山に中四国支店を設置する企業が増えてきた

☆岡山マラソンはランナー同士のコミュニティーサイトで全国 1 位を獲得している

☆桃太郎伝説が日本遺産に認定されたのを契機として地域を盛り上げていきたい

久世会長からも岡山市連合町内会活動報告があり、盛会のうちに終えました。



会場の様子

地域とともに 未来を拓く

藤田団地事業協同組合
一般社団法人藤田団地管理会
藤田団地汚水処理施設管理組合
藤田企業団地自治会

〒701-0221 岡山市南区藤田564番地166
電話 086-296-0020
FAX 086-296-0021

W GRAND LACERE
岡山市北区柳町1-4-1
☎086-212-0888

平安祭典
岡山南会館 岡山中央会館
岡山市北区東古松3-8-18
☎086-225-1000

しあわせ生活サポート企業
ユウベル

葬儀 法要 「いい葬儀だったねえ…」

アパロホール

ホール使用料
光熱費
スタッフ費用
無料!!

岡山・倉敷で11ホール
JA岡山指定店
岡南福吉ホール
☎(086)902-1122
西市ホール
☎(086)244-3377
西川原ホール
☎(086)271-0011

お気軽に
お問合せ
ください!!

姫路・鳥取・岡山三市姉妹交流会

岡山市連合町内会
常任理事 光岡 久志



鳥取市自治連合会、姫路市連合自治会、岡山市連合町内会の姉妹交流会が、平成30年9月20日に姫路市「ニューサンピア姫路ゆめさき」において開催されました。

今回の議題は、各市でテーマを設定し、取り組み内容の経緯結果について発表されました。

○鳥取市【町内会への加入促進活動について】

町内会が共助を担うためにも加入率アップが必要である事及びこれからの町内会の姿についての検討。

○姫路市【姫路城マラソンにおける姫路市連合自治会の「おもてなし活動」】

姫路城マラソンでのボランティア活動が、市民参画事業として定着したことから、今後も連合自治会としてしっかり協力していく。

○岡山市【平成30年7月豪雨災害について】

豪雨災害発生直後の東区・平島、北区・御津での復旧作業において、社会福祉協議会ボランティアセンター、町内会、行政が行った初期対応など。

現在では、どこに危険が潜んでいるかわかりません。

安心して生活できる地域づくりについては、コミュニティの再生は重要な課題です。若い人たちの価値観の違い、地域の連帯力低下、高齢化による後継者の不足といった問題が各地で起こっています。私たちの目指す地域社会は、一人ひとりの生き方が尊重され、自由な発言、行動ができる地域社会です。そして、年代に関係なく、課題について皆で考え、意見を出し合い、一緒に活動することで感謝し合う気持ちが育まれ、地域で連帯感を共感することで、伴に支え合う地域を目指すことの大切さを再認識することができました。

最後に、次の開催に向けて、鳥取市により、今回、自治会、町内会の発表が、共通の課題目標であることを確認し閉会となりました。



交流会の様子



発表の様子

岡山県への要望 砂川河川改修について

東区連合町内会連絡協議会
会長 伊永 高明



東区連合町内会連絡協議会では、平成30年の西日本豪雨による砂川の堤防決壊に伴う、災害復旧事業及び河川激甚災害特別緊急事業の実施について岡山県に対し要望書を提出しました。

12月28日に東区連合町内会連絡協議会の会長、副会長、理事の6人で、伊原木知事に直接要望書を手渡し、砂川改修事業の早期実施等について次の3項目の要望を行いました。

- ①国に認められた河川激甚災害特別緊急事業などの改良復旧事業を着実に進め、再度の災害防止に努めること
- ②国により改良復旧事業として認められなかった区域及び砂川の支流についても、堤防の強化策など、必要な措置を講じること
- ③事業実施にあたっては、地元の地域住民に対し、工事内容、時期、期間等を鋭意説明し、円滑な事業推進に努めること

この要望に対し、伊原木知事から、前向きに検討し、事業の円滑な実施に向け努力する旨の回答がありました。

砂川改修を着実に実施し、砂川流域の住民が安心して暮らすことができるよう、再度要望し、伊原木知事との面会は終了しました。



要望の様子

ハイブリッドならカローラ岡山



CAMRY



PRIUS



COROLLA
FIELDER

トヨタカローラ岡山

詳しくはホームページで!!

トヨタカローラ岡山

検索

各店の定休日は 毎週月曜日

月曜日が祝日の場合は、翌日が定休日となります。
(エールアンフィーク・夏季休暇・年末年始を除く)

清輝学区の自慢

清輝学区連合町内会
会長 中原 一郎



清輝学区には自慢する事が色々ありますが、今回は、清輝小学校の中にある「子供たちと共に学ぶ教室シニアスクール」を紹介します。

平成 15 年に全国でも初めての試みとして岡輝中学校に開校し、平成 19 年には岡南小学校、清輝小学校にも開校されました。清輝小学校では火曜日、金曜日に 1 日 5 時間子供たちの授業に合わせてチャイムと共に始まり、実費で子供たちと同じ給食を食べています。授業も中学校の教科と同じように 9 教科あります。中には英語を習いたかったのですが戦争の時だったので習えなかったといって楽しんで勉強されている方もいました。テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業を受けられています。

また、子供たちとの交流も学習発表会、運動会、総合学習などもあり、核家族で家にお年寄りの方と同居していない子供がほとんどなので、むかし遊びを一緒にしたりして、ともに学び世代を超えた「ふれあいと交流」を深めています。

最後に、通える方であれば学区外からでも歓迎してもらえます。楽しいですよ。

「シニアとは」

シニアスクールにおける「シニア」とは年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲をもっている方を募集しています。



教室の入口



小学校入学式



授業風景



運動会の入場行進

「兵庫県朝来市大蔵自治協議会 との交流」

加茂学区連合町内会
会長 定廣 好和



話題を生むことで人が集まり、そして、賑わいが活力創成につながるのは何も都市部だけの話ではありません。中山間周辺部も同様です。ただ、都市部の様に継続的で豊富な話題づくりができるかどうかです。

吉備津神社や最上稲荷、高松城址公園のある鯉山と庄内学区に挟まれ、居住空間としては穏やかであるが地味な加茂には埋没感を感じていました。平成 20 年連合町内会長になり、そして翌 21 年、電子町内会と造山古墳蘇生会をほぼ同時期に起ち上げました。その蘇生会も今年 5 月に 10 周年を迎えます。そこで蘇生会の話題を一つ。昨年、6 月 2 日に兵庫県朝来市大蔵自治協議会の「交流と魅力づくり部」一行が古墳見学で来訪、案内のあと高松公民館で意見交換をしました。先方も古墳や山城が多い地域で、それをどの様に活用するか検討中のようで、貴重な意見交換が出来ました。

11 月 3 日、朝来市を訪ねました。古墳が削平され住宅が建っていたり、古墳中央を国道 9 号線が貫通していたりと無残な姿も目にしました。だからこそ彼らは地域民にふるさとの大切な価値あるものとして啓発していこうとしているのです。

山間に突如賑わいが出現します。そこにはビジターセンター「古代あさご館」があり、隣には道の駅があります。子ども連れの家族や若い二人連れの賑やかな声が聞こえ、活気に満ち溢れていました。帰り際にいただいた大蔵自治協議会の冊子は素晴らしく、加茂と殆ど規模的に変わらない大蔵自治協議会の様々な部会活動に感心しきりです。

大蔵の生んだ児童文学作家「森 はな」氏の代表作「じろはったん」の様にふるさとを愛し、人への思いやりや心の優しさが伝わるあたたかいふれあいのまちづくりを目指したいものです。この交流でまた目を見開かされた思いでした。



高松公民館での意見交換の様子



ビジターセンター「古代あさご館」

学区内の親睦と連帯を深める活動

財田学区連合町内会
会長 中元 篤宏

財田学区は東岡山駅周辺にあり、東西3km・南北2kmで、旧国道2号線が学区の中央を走ります。合わせて、近年の住宅開発や商業化で開発が進むとともに、東岡山鉄工団地や東岡山県営住宅が立ち並ぶところです。そのため、昭和56年には子供たちの増加に伴い、竜之口小学校と分離しました。

現在、連合町内会には20町内会が加盟し、会員世帯は4062世帯となっています。地域内には、県立城東高校・財田小学校・財田幼稚園・乙多見・神下・財田保育園・福祉プラザさいでん・児童センター・老人憩の家等の施設があります。また、歴史的に評価されている「渋染資料館」も神下地域にあり、毎年全国から数千人が視察研修に訪れます。

また、毎月定例の幹事会を開き諸事業等の論議を深めています。その中で昨年度から、学区内の住民相互の連帯や親睦を深める取組として、「ふれあい夏祭り」を24年ぶりに復活させました。

この祭りは、あらゆる立場の学区民が集い、触れ合い、催しを楽しむことで地域間の交流を深めることを目的にしています。本年度も、昨年度を上回る人たち1500人以上の人々が参加しました。

その他、PTAが主体となるふれあいキャンプファイヤーや学区体協主催の運動会などで親子が協働し、絆を深める楽しい時間を過ごしています。

また、西日本豪雨災害で被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げますと共に連合町内会として、全会員に呼びかけ、873,000円の義援金が集まり、岡山県に寄附をさせていただきました。



子どもたちも大はしゃぎ



露店は参加者で長蛇の列が

学区名の由来と今後の取り組み

御休学区連合町内会
会長 竹井 秋人



学区名の御休は、明治18年に明治天皇が巡幸されたときに、ご当地にてご休憩されたことで、御休（みやす）となり学区名の由来とされています。

岡山市の東の玄関と言われ交通の要衝で吉井川にかかる備前大橋からの国道2号線と分岐した国道250号線（旧2号）が中心を横断していて沿線は運送業と自動車関連の企業が多数進出して開発がすすみ、岡山浄水場（1万トン貯水）もあります。農業地は農業振興地域制度でほぼ規制されています。当学区でも少子高齢化がすすみ、地域をより活性化し絆を強化する為に、町内会と祭り実行委員会その他の団体にも協力してもらい『みやすの集い』の祭りを実施し盛り上げています。

平成30年7月7日西日本豪雨では、砂川の決壊により学区内の6町内も被災いたしました。とりの平島地区の被害は甚大で平島の避難所は冠水しましたので御休小学校の避難所に当日350名強の方が避難されてこられました。3日間の運営でしたが体育館は満杯状態となり大変な状況になりました。区役所職員・教員・町内会長を中心に愛育委員・民生委員その他の方々にご協力をいただき乗りきりました。そして城東台学区内で作ったおにぎりや個人・会社等からの各種差し入れも届きました。炊き出しもいただきましたが、かかる費用については御休町内会費で支援いたしました。

学区には、自主防災組織がありませんので、早急に組織の設立に取り組み、防災の活動をおこない、安全安心の学区にしていけることが重要と思います。

西日本豪雨により被災された方々には1日も早い復興をお祈り申し上げます。



2日目の避難所様子

これからの防災

第二藤田学区連合町内会
会長 遠藤 太郎



昨年は全国的にも災害の多い年でした。岡山は晴れの国といわれてきましたが、昨年の7月豪雨では真備町をはじめ各地で大きな災害がありました。岡山市内でも東区平島地区、北区など各地で浸水被害があり、災害への備えの重要性を認識させられました。

第二藤田学区では、南海トラフを震源とする巨大地震や洪水など様々な災害に備えるため、平成29年5月に「第二藤田学区大規模災害対策委員会」を立ち上げ、学習や研修、防災訓練を実施し、併せて防災用品の購入をおこない独自に備蓄もおこなっております。

平成29年は、第二藤田小学校を会場に、非常食での食事、岡山理科大学の西村先生による「第二藤田学区に予想される地震災害」の講演を聴き、AEDの操作・171災害伝言ダイヤル・簡易タンカの作り方などの訓練をおこない、学校の備蓄倉庫・非常用水タンクの見学もおこないました。

平成30年の訓練は西村先生と危機管理室の方を迎えて図上訓練をおこないました。

研修については平成29年は神戸、平成30年は淡路島へ行き、施設見学と語り部の方々から貴重な体験談をお聞きし、日常的な地域のつながりの大切さとしっかりした備えの重要性を学びました。

その他の取り組みでは、「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」への防災用品の展示と非常食の試食を行い、春の「どんぶらこの里ウォーキングと炊き出し訓練」では防災訓練や防災グッズの展示と炊き出し、健康作りのウォーキングをおこない、災害への備えを啓発しております。

海拔ゼロメートル地帯である藤田地区では避難施設がほとんどない状態であり、今後、避難施設充実についても取り組んで行きたいと考えております。



簡易浄水器による汚水の浄化



図上訓練 (DIG) の様子

碧い海 蒼い山並 青田風…自然がいっぱい

小串学区連合町内会
会長 中島 莞爾



児島半島東端にある小串学区は「海あり 山あり 畑あり」の風光明媚なところ。相引、米崎、向小串、小串、阿津、西原の6集落から成り、耕地整理記念碑や謂れのある祠、神社仏閣が随所にあります。

総門土手という広場が小串小学校近くにあります。幕末、黒船襲来に備えて岡山池田藩は土手の東の丘に砲台を築き、侍が広場の総門を潜って砲台場に渡り警固しました。現在、夏は小串芸能保存会の盆踊り会場に、鎮守の社の秋祭りでは神輿のお旅所になります。神事後、阿津芸能保存会の浦安獅子舞(天狗の舞や三番曳、荒獅子、奴の毛槍渡し)を奉納後、次の集落に向かいます。子どもの山車が戻ってくると、大人も加わって神輿振りをする年もあります。

海で盛んだった桧木漁や一本釣、底引漁、壺網漁はしていませんが、養殖海苔は市場で高い評価を得ています。小学生が専門家や漁業関係者の協力でアマモ(生物の揺り籠)の再生に12年間取り組み、ESD発表会で海外からの出席者にも絶賛されています。

溜池や用水路を農家は協力して管理し、稲を栽培。野菜(甘藍やレタス、小松菜、葱、パクチー等)や地元の乳牛用牧草の栽培面積が拡大。夏の夕方、灌水中の人が「萎れていた苗がぴんと立ち、葉先の朝露が輝いているのを見ると、自分も元気になる」と話しています。農業従事者が減る中、移住して農業研修後、野菜農家として励む人もおり、その中から全市的な農業組織の甘藍部会長についた若者は「他所の人も迎えて仲間を増やし、共に頑張りたい」と夢を語っています。30年以上2世代に互り洋蘭を栽培・販売する家もあります。

今後、社会は更に複雑化し、人々への重圧は増大するでしょう。だからこそ、子どもの頃、自然豊かな落ち着いた小串学区で様々な体験を重ねて成長することは、何物にも替え難い一生の宝になると考えています。大人にとっても、勿論。



八丈岩山山頂から東の犬島や小豆島方面を望む 相引の沖合には海苔網が広がる

赤木格堂(本名 亀一)さんは、小串生まれの俳人(正岡子規の三高弟の一人)。パリに留学し、国会議員や山陽新報(現山陽新聞)主筆を務めた。中国の孫文を支援。(1879～1948)



赤子シャの収穫中 手前の甘藍の収穫も間近 後方の丘は砲台跡跡

豊かな緑 豊かな文化活動

富山学区連合町内会
会長 小橋 一郎



実りの秋を迎え、田圃では稲の刈入れが始まった10月27日(土)28日(日)の両日「富山文化まつり」が盛大に開催されました。

富山学区は、標高168mの操山山系の山懷に抱かれ、人工の運河「倉安川」が流れる恵まれた自然環境の中にあり、数々の古墳群、歴史遺産のある緑豊かで、文化の香り高い由緒ある土地柄です。学区住民の高齢化率が30.5%と中区の中では三番目に高い水準にあります。しかし、近年学区の其々の団体は、大変活発な活動を展開し活気に溢れています。

今年で16回目を迎えた「富山文化まつり」は、連合町内会、文化まつり実行委員会が主催し、(みんなで広げよう 人の和 文化の輪)のスローガンの下、公民館、小学校体育館を会場とし、各種団体の協力を得て開催され、関係者を含め延べ2,000人を超す人々が参加する富山学区最大の行事です。公民館会場では、公民館で活動している各講座の作品展示や豊富な内容の「体験コーナー」、模擬店が設けられ、体育館会場では作品展示と舞台発表があり、多くの模擬店が出店され買い求める人々が列を作っていました。

今年度は作品展示・舞台発表とも非常に幅広い団体、個人の参加があり従来より更に充実した文化まつりとなり、周辺の学区からも大変注目されました。小・中学生、高校生の意欲的なボランティア活動に加え近隣企業からも力強い協力をいただきました。又、電子町内会委員の活躍も目覚しく、小学校体育館の舞台発表を230m離れた公民館に実況中継しました。

大変な賑わいをみせた「富山文化まつり」でしたが、女性の参加者に比べ男性の姿が少なかったことが気になります。男性も積極的に外に出て多くの人々と関わり、文化まつりを楽しんでいただきたいと思います。



富山文化まつりの様子

支え合いの地域づくりを目指して ～石井十次に学ぶ会を設立～

大宮学区連合町内会
会長 東森 貢

大宮学区は、岡山市東区の東南端に位置し、ホテルが生息する自然豊かな環境の中にあります。一方、少子高齢化が急速に進み課題は山積しています。

これまで、地域のふれあい・健康づくりを目的とした三世代交流会や大宮桃太郎七夕祭りなどを実施し成果を上げてきました。

平成29年10月、三世代交流会にて『石井のお父さんありがとう』の映画会を開催し、それを機に『石井十次に学ぶ会』を発足しました。石井十次は福祉という言葉がなかった明治の時代にわが国で初めて岡山孤児院を創設した偉人ですが、大宮学区はその発祥の地です。そこで石井十次の偉業について学び、その精神を生かした諸活動により、ゆかりの地に相応しいコミュニティを築くことを目的としてこの会を設立しました。

その後、会員を募り下記の活動に取り組んできました。

- ①紙芝居「親子で語り継ぐ石井十次の物語」を制作・上演、DVD化して東区の小学校に配付
- ②シンポジウム「3千人の孤児、父となった男 石井十次」(於：さん太ホール)14名参加
- ③講演会「あなたに出会ってありがとう～石井十次の愛の実践に学ぶ～」講師：叶原土筆

- ④ゆかりの大師堂・隣接の小公園の保全活動
 - ⑤大宮小学校の取り組み特別企画「石井十次先生に学ぶ」
 - ⑥石井記念友愛社(宮崎県児湯郡木城町)訪問・植樹等
- さらに、平成31年3月1日には、福祉交流プラザ山南において、紙芝居上演並びに石井記念友愛社訪問・植樹についての報告会を実施しました。

今後は、大宮連合町内会と地域づくりネットワーク主催で実施している「支え合いの地域づくり」で学習し掘り起こした課題とリンクさせて、石井十次の精神が広がるコミュニティを目指します。



十次ゆかりの地上阿知大師堂
小学生が清掃

3世代キラリ交流会

福田学区3世代キラリ交流会
実行委員長 吉田 靖弘



心豊かな人々が暮らす「福田」、子どもからお年寄りまで、安心して楽しく快適に生活できる地域「福田」の創造！を目指して、心豊かな福田っ子の育成のために、地域で世代の異なる人たちとの交流会を開催することとなりました。その名が「3世代キラリ交流会」です。

連合町内会や安全安心を守る会、幼・小・中学校のPTA、生徒会など、福田学区の3世代にまたがる様々な団体の主体的な参加により、文化伝統に親しむ「とんど祭り」、お年寄り世代が指導役を務める「餅つき」、3世代が和やかに歩く「ウォーキング」、小学生によるお年寄りなどへの「肩もみ」、中学生が地域の名人さんの助けを借りながら行う「書道教室」などを実施しています。

これら取り組みにより、

- ・子ども世代（園児・児童・生徒）のつながりが強くなる
- ・子ども世代が大人世代やお年寄り世代と繋がる
- ・大人世代とお年寄り世代の交流が深まる
- ・子ども世代や大人世代と触れ合う事で、お年寄り世代に生きがい生まれる

などの効果が期待でき、それぞれの世代にとって、安心して生活できる地域へと結びついていくものと信じています。

今年度で3回目となる「3世代キラリ交流会」。

生みの苦しみのあった1回目、充実し参加者も増えた2回目、そして3回目となる今回、本番までの話し合いでも、参加する各団体が今まで以上に積極的であり、世代間の交流が深まっていることを実感しています。きっと今回も、今まで以上に、それぞれの世代が、世代間の交流を深めながら、参加されるすべての方がキラリと輝く取り組みになるに違いありません。

平成31年1月12日、岡山市福田小学校運動場で「3世代キラリ交流会」が開催されました。多くの方々にご参加いただき、身も心も温くなる触れ合いを体験していただけたのではないかと思います。



みんなで市民体操



とんど祭りの様子

「自分史」について

芳田学区連合町内会
会長 吉森 旭



私は、昭和29年5月1日国家公務員として就職しました。就職後は、経済混乱期から、所得倍增計画、日本列島改造論、そしてオイルショックと、昭和の日本の経済が目まぐるしく動いた時期を経験しました。そんな中、昭和50年に芳田町内会の会長に就任しました。

平成になり、冷戦終結、ベルリンの壁の崩壊、国際市場の円高急騰等、世界が大きく動いていくなか、5,500人が亡くなった阪神淡路大震災や10名が亡くなったオウム真理教の東京地下鉄サリン事件の発生で日本の治安神話が崩れた平成7年の4月1日に41年務めた公務員を辞職しました。

その後、平成21年3月まで勤めをすることができ、関連のセンターや非常勤講師なども経験したことで、行政経験52年を達成したり、岡山シルバー人材センターに登録して民間企業で勤務させていただいたり、あわせて55年間の勤務をさせていただきました。その間、平成15年からは、芳田町内会の会長と合わせて、芳田学区連合町内会会長としても務めることになりました。

芳田町内会会長と芳田学区連合町内会の会長は現在も務めさせていただいており、思えば、地域の方々に支

えられながら、仕事だけでなく、町内会活動をも務めることができたと思っております。おかげさまで、平成28年5月には叙勲（旭日単光賞）を賜ることもできました。これも地域の皆様の支えがあつてのことです。

今後は後進育成に努めるとともに、地域の益々の発展に尽力したいと思います。



平成28年5月に旭日単光賞受賞

出石地区寸描

出石地区連合町内会
会長 井上 剛

出石地区は今、「路面電車の岡山駅前広場乗入れ事業」や「県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業」、岡山駅前地区やイトーヨーカドー跡地などの再開発、地区内至る所でのマンション建設等々速いスピードで大きく変わろうとしています。岡山駅前が政令市の玄関口に相応しい風格と賑わいを見せてくれることに期待しています。

一方でこれまで地域内に永く住まれた方々の流出や、逆に新しくマンション等への入居により地域内の住民の入れ替わりは激しく、今はまだ、町内会や各種団体の頑張りや地区民を対象とした行事や様々な活動も活発に行われていますが、地域内全体の今後を考えればコミュニケーションの希薄化が進み、今後地域がどうなるのか心配もしています。

このように地域内の課題が変化する中、これまでのように「地域住民」と地域の「各種団体」との関係だけで地域をうまく維持して行けるものだろうかと不安に思っています。地域住民自らが各種団体の一員として知恵を出し合い地域の課題を解決していくというこれまでのやり方は、もちろん継続して行かねばならず、今後も必要なことに間違いありません。

しかし、地域住民の繋がりが、希薄になって行くだろうという状況下にあっては、「地域住民」と「各種団体」と「事業者」の三者が一緒になって、地域の課題、方策を探し出し、それに向かって互いが意識を深めることができれば、これら三者はウインウインの関係、三方一両得になるのではないかと思います。先進地域の取組みを参考にしながら今後努力して行きたいと思っています。

ところでこの程、出石地区民の要望に応え、連合町内会として、岡山市長及び岡山市議会議長あてに要望書、陳情書をそれぞれ提出しました。

大きく分けると内容は二点、一つは中心市街地における「客引き行為等の防止に関する条例の制定を求める」もの、もう一つは「路上喫煙制限指定区域の拡張変更及び公園での喫煙禁止を求める」ものです。

地域住民としては街の賑わいが増すこと、それ自体は大いに望むところですが、その賑わいは岡山市民だけでなく観光客も含めみんなが、気持ちよく楽しめ、活気あ

る健全なものでなければなりません。ところが北区の本町や柳町界限での現状は決してそうではありません。執拗な客引きは目につきますし、人ごみの中での平気な喫煙、喫煙後のポイ捨ては横行し、未成年者の公園での喫煙もなんらお構いなしというのが現状です。路上の散乱ゴミは減少していますが、横断歩道付近のタバコの吸殻は多く、朝の公園にゴミやタバコの吸殻が散乱している風景が日常茶飯事となっているのです。

これらの現状を回復するには罰則の適用もやむなしと考え、今回は罰則規定についても併せて要望・陳情しています。

今回の要望・陳情については、様々なご意見があることはよく承知いたしております。広く皆さんの建設的なご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。



岡山駅前広場の様子



イトーヨーカドー跡地の再開発



本町界限の様子

—お子様からお年寄りまで、地域の人々の健康と暮らしを支えます—

介護老人保健施設

あいの里リハビリ苑

TEL(086) 281-6626



“リハビリ強化”

青木内科・小児科医院

日曜日も診療 入院応需・往診

働くお父さん・
お母さんも安心

病児保育

〒701-0204 岡山市南区大福281-5

TEL (086) 281-2277

<http://www.aoki-ainosato.or.jp/>

あいの里クリニック

〒701-0204 岡山市南区大福950-6

あいの里クリニック

TEL (086) 281-6622

あいの里クリニック歯科

～健康は健やかな歯・口腔ケアから生まれる～

TEL (086) 281-6638

教育委員会との懇談会

岡山市連合町内会
副会長 多賀 克充



日時：平成30年11月1日 場所：ほっとプラザ大供
出席者：教育長他5名、岡山市連合町内会長他12名
主に4つの項目について意見交換を行いました。

【公民館職員、学校司書及び講師の処遇】

(岡山市連合町内会) 重要な役割を果たしており、正規職員を配置してください。

(教育委員会) 市役所での職員の総枠が決まっており、その中で市民サービスの向上を図る必要があります。公民館長は教職OBと公募から選出され、正規職員は各館1名ずつ配置されています。学校司書は全校に配置することを目標にしています。教員の採用については、今は、毎年小学校が100名、中学校が50名を採用しているが、特別支援学級の増加のために採用が追いつかない現状です。

【学校の環境整備】

(教育委員会) エアコンは中学校に来年度中に設置し、小学校もなるべく早く設置します。トイレの洋式化は、全学校で各階に男女1か所以上整備の予定です。

【少年犯罪や不登校が多い現状】

(教育委員会) 不登校について、中学校は全国平均を下回っていますが、小学校は増えています。不登校や問題行動を起こす子どもを総括する「生活指導主事」という役職教員を全校に配置しています。それ以外に「不登校担当職員」「不登校支援員」などで対応しています。

【地域行事への子ども参加】

(岡山市連合町内会) 子どもの地域イベントへの参加が少ないことについて、又、通学区域弾力化により地域差が生まれていることについてどう考えていますか。

(教育委員会) 今年度から小学校の通学区域弾力化を廃止しており、中学校については検討中です。中学生や小学校高学年がイベントなどに魅力を感じて参加しているとよく聞きます。地域と学校をつなぐ場である「地域協働学校」を生かし、地域と学校の融合を進めていきます。



懇談会の様子

危機管理室との懇談会

岡山市連合町内会
理事 瀧本 孝



平成31年1月22日、岡山市のほっとプラザ大供で、岡山市危機管理担当局長や岡山市連合町内会役員等、16名が出席して意見交換が行われました。

危機管理室から「全ての町内会で自主防災組織の結成を目標にお願いをしていきたい」との話がありましたが、全ての単位町内会で自主防災組織を組織するのは難しく、単位町内会と学区・地区連合町内会とでは、出来ることも異なってくるので、岡山市の役割も合わせて、どんな事をするのが良いのか話合いました。

単位町内会では近所で声かけしての避難行動に特化した自主防災組織を結成し、学区・地区連合町内会では、避難や避難所運営の訓練を行う自主防災組織をつくるのが良いのではないかと意見でした。岡山市としても、今後は地域任せではなく、どのような補助ができるかも含めた話を各学区・地区へするために、連合町内会長のところへ直接伺いして、説明と協力を要請しますとのことでした。

また、避難経路や避難所運営についての問題点を提起したところ、現在は岡山市で検証委員会にて、今回の豪雨災害でわかった問題点を整理しているということであり、その中で避難情報の出し方や避難所運営の反省点を検証しているという事でした。出来るだけ早く検証を終え、その結果は必ず地域に教えていただきたい。また、各区役所に危機管理を担当する職員を配置してもらいたい。と要望しました。



意見交換の様子



社会医療法人 一 救急指定病院 一

光生病院

(公財)日本医療機能評価機構認定病院

理事長・院長 佐能量雄

☎(086)222-6806 (代)

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号

バス：JR岡山駅より倉敷方面行き光生病院前下車

タクシー：JR岡山駅・天満屋より約5分

内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 呼吸器内科
循環器内科 消化器内科 心血管外科 神経内科 心療内科
リハビリテーション科 皮膚科 放射線科 泌尿器科 麻酔科
ペインクリニック内科 眼科 歯科

受付時間

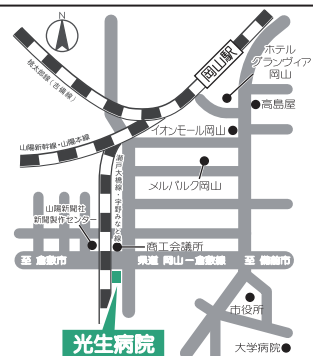
午前 8:30～11:45
午後 12:30～16:30

診察開始

午前 9:00～
午後 13:00～

休診日

土曜午後・日曜日・祝日
急患は、24時間受け付けます。(内科・外科)



電子町内会に参加してみませんか

岡山市電子町内会

岡山市連合町内会では、市民情報化及び電子町内会の拡大推進を図っています。平成30年度は6月22日、10月12日、1月11日にICT推進専門委員会を開催し、電子町内会の充実・拡大について協議しました。

また、平成30年12月1日ほっとプラザ大供2階研修室において、電子町内会意見交換会を開催しました。町内会のホームページを作っている役員の方が集まり、「電子町内会リニューアルから2年を経過して…」というテーマで意見交換を行いました。電子町内会を利用している上で感じていることや、ホームページをどのように運営しているかについて話し合い、活発な意見交換となりました。



意見交換会の様子

～投票のお願い～ 電子町内会利活用コンテスト2019

岡山市電子町内会では、町内会、学区・地区連合町内会が独自のホームページを作り、地域のイベント、話題、防災情報などを掲載しています。

地域の皆様にもっと電子町内会を知ってもらうため、電子町内会参加の町内会に、テーマに沿った作品をエントリーしていただき、優秀な作品を投票で決めることとなりました。

パソコン、スマートフォン等で投票できます。ぜひ一度、電子町内会の利活用コンテスト2019ホームページをご覧ください、気に入った作品に投票してください。

(投票期間) 平成31年4月1日～4月30日

(作品のテーマ)「写真」「自由テーマ」

投票は電子町内会のページにアクセスしてください。



岡山市電子町内会

検索



※このQRコードをスマートフォンやタブレットにかざすと、岡山市電子町内会のサイトにアクセスできます。

女性自治会長情報交換会に参加して

平成11年に男女共同参画社会基本法が制定されて約20年。内閣府男女共同参画局が、各界の女性の進出状況や男女差別の状況を調査した結果、各界で女性の社会進出は確実に進んでいます。

しかし、女性の家事労働時間が長い、自治会長等の代表者には女性が少ない、企業の役員等事業の企画・決定の場に女性が少ない、議員も女性が少ない等の実態も分かりました。社会はまだ男性優位の考えが存在していることを認め、女性が輝き活躍を加速させるための重点方針2018が策定されました。

その一環として、昨年11月に総務省内閣府において、「女性自治会長情報交換会」が開催され、私も岡山市連合町内会から推薦を受けて参加し、北海道から沖縄までの女性自治会長39人が参加しました。

その会では、女性自治会長を増やすために、

1. 男女共同参画はすべての人が幸せに感じる社会への一歩。
(男女平等が実現している国は幸せ度が高い)
2. 日本は144先進国中、男女平等実現では114位と最下位に近い。
(日本の常識は世界の常識ではない)
3. 家庭の男女共同参画実現。
(まだ家事負担が女性に重い、男性の理解と協力が必要)
4. 男女とも意識改革が必要。(自治会になぜ男女共同参画が必要か勉強する)
5. 女性が出やすい仕組み作り。
(男女共同参画が実現するまでの期間限定措置)

等話し合いました。最後に、10%や30%でなく、「フィフティフィフティーを目指して!」とガンバローコールで解散しました。

岡山市の町内会(自治会)でも、女性町内会長は7%程度で、まだ女性は出難い雰囲気があります。女性自治会長という同じ立場で、共通の課題の情報交換会で、とても力を得ました。このような機会を与えていただきありがとうございました。この経験を活かすために、微力ながら、今後とも頑張りたいと思います。

岡山市連合町内会
理事 大和田 黎子



女性自治会長情報交換会



情報交換の様子

岡山商工会議所

会 頭	岡 崎 彬
副 会 頭	中 島 基 善
副 会 頭	石 井 清 裕
副 会 頭	梶 谷 俊 介
副 会 頭	高 谷 昌 宏
専務理事	高 橋 邦 彰

岡山市連合町内会の動き

◎常任理事会

- ・第5回（10月9日）
岡山市町内会長等懇談会について 他
- ・第6回（11月27日）
仙台市連合町内会長会からの義援金について 他
- ・第7回（12月21日）
岡山市町内会長等懇談会について 他
- ・第8回（1月18日）
平成31年度の事業計画について 他
- ・第9回（3月7日）
平成31年度の事業計画について 他

◎理事会

- ・第5回（10月19日）
岡山市町内会長等懇談会について 他
- ・第6回（12月7日）
仙台市連合町内会長会からの義援金について 他
- ・第7回（1月24日）
平成31年度の事業計画について 他
- ・第8回（3月19日）
平成31年度の事業計画について 他

◎新春互礼会及び市政・活動報告会 〈関連資料P5〉（1月9日）

◎会計監査会議（10月31日）（1月30日）

◎専門委員会

- ・会報第33号編集委員会
（11月29日）（1月23日）（2月18日）（3月1日）
- ・ICT推進専門委員会
〈関連資料P14〉（10月12日）（1月11日）
- ・岡山市協働条例推進委員会（10月4日）
- ・男女共同参画専門部会
（12月4日）（1月29日）
- ・共済制度運営委員会（1月21日）

◎教育委員会との懇談会〈関連資料P13〉（11月1日）

◎危機管理室との懇談会〈関連資料P13〉（1月22日）

◎各区町内会長等懇談会〈関連資料P2～3〉

北区（11月5日）（12月22日） 中区（11月2日）
東区（12月18日） 南区（10月15日）

◎町内会長等懇談会パネルディスカッションの事前打ち合せ （12月25日）（12月26日）（1月15日）（1月16日）

◎町内会長等懇談会〈関連資料P1〉（2月10日）

◎女性町内会長等懇談会（2月27日）

◎三市姉妹交流会〈関連資料P6〉（姫路市）（9月20日）

◎会員視察研修〈関連資料P4〉（松山市・今治市）（10月23日～24日）

◎女性自治会長情報交換会〈関連資料P14〉 （東京都）（11月14日）

◎常任理事構成員視察研修〈関連資料P5〉（東京都）（11月15日）

◎三市姉妹交流会勉強会（鳥取市）（12月6日）

◎会津若松区長会との交流（会津若松市）（2月20日）

◎受賞報告

◇岡山市有功表彰（11月3日）大和田 黎子

◇永年勤続町内会長表彰状及び退任町内会長・区長感謝状（12月3日）

・20年以上勤続単位町内会長…8名（表彰状）

・退任（5年以上勤続）単位町内会長・区長…63名（感謝状）

◇自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰

（11月28日）伏見 公誠

池田 太郎



◇秋の叙勲（11月3日）

中原 一郎

西谷 萬二

樋口 正信



岡山県自治会連合会の動き

◎平成30年度自治会連合会全国大会

〈関連資料P5〉（東京都）（11月14日）

◎中四国自治会連絡協議会

（倉吉市）（2月22日）

全国自治会連合会の動き

◎平成30年度自治会連合会全国大会

〈関連資料P5〉（東京都）（11月14日）

◎全国自治会連合会常任理事会

（郡山市）（2月19日）

世界が認めた七田式教育
七田式
子そだては 夢そだて
三鈴学園

三鈴教室(本部) さん太教室 西大寺教室 倉敷教室
お問い合わせ先
TEL 086-284-5222 (本部)
『愛の実践ができ、自立し、高い志をもった子』を育てる
三鈴学園

SPORTS ENTERTAINMENT
ROUND1 STADIUM

BOWLING AMUSEMENT DARTS KARAOKE SPO-CHA
遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ 遊ぶ

国道2号沿い妹尾西交差点を東へ約900m 無料駐車場台数520台
岡山県岡山市南区妹尾3413-1
岡山妹尾店 TEL 086-282-8851
http://www.round1.co.jp/

おいしいデザートのお菓子をどうぞ..

株式会社ドンレミー 岡山工場
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-250-0511
ドンレミーアウトレット岡山店
岡山市南区藤田 566-276 ☎ 086-296-2871

漢字クイズ

①～⑫の漢字と同じ読み方の漢字をア～シの中からそれぞれ選んでください。

- | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|
| ① 愀気 | ② 瞋恚 | ③ 韜晦 | ア 倒壊 | イ 換金 | ウ 郊外 |
| ④ 看経 | ⑤ 咀嚼 | ⑥ 宸翰 | エ 臨機 | オ 新刊 | カ 神意 |
| ⑦ 糟糠 | ⑧ 浩瀚 | ⑨ 翩翻 | キ 漆黒 | ク 海里 | ケ 好感 |
| ⑩ 桎梏 | ⑪ 慷慨 | ⑫ 乖離 | コ 租借 | サ 走行 | シ 返本 |

正解者の中から抽選で10名の方に粗品を進呈します。〒住所・氏名を記入の上、下記までお送りください。

〈送付先〉〒700-8544

岡山市北区大供一丁目1-1

岡山市連合町内会 会報編集委員会

〈締切〉平成31年4月30日必着

〈発表〉発送をもって代えさせていただきます。

前号の答え

- | | |
|-------------|--------------|
| ① がりょうてんせい | ② かでんりか |
| ③ ぎょくせきこんこう | ④ ごずめず |
| ⑤ かつかさうよう | ⑥ むよくてんたん |
| ⑦ せいさつよだつ | ⑧ きゅうぎゅういちもう |
| ⑨ れいかんさんど | ⑩ でんぶやじん |

電子町内会利活用コンテスト2019を実施します

電子町内会のホームページを見て、気に入った作品に投票してください。

詳しくは14ページをご覧ください。

投票はこちらから



編集後記

昨年7月豪雨災害では、北区・東区に大きな被害をもたらしました。被害の拡大を防ぐためには、(公助)だけでは限界があります。災害時は地域や近隣の人々がお互いに協力し合う(共助)備えの重要性を認識させられました。

そして、連合町内会としまでも主体性をもって各地域での問題把握と解決に向けて努め、行政との連携を密にして、地域活動を活発に展開し、地域の福祉、防犯、防災、美化等の生活環境の向上と安全で安心して健やかに暮らせる地域づくりに向けて意を共有して進みたいと思います。

また、2月10日(日)に開催されました、町内会長等懇談会には、各区の活動報告、提案事項や、日常での活動の問題点の提議等の発表があり、行政当局の答弁も含め、参加された人々には共感を与え、今後の町内活動に活かされるものであったと感じています。

最後に、各学区・地区の話題、コラムに投稿して下さった皆様、会報誌記載の広告の協賛企業の皆様、そして、いろいろお世話になりました各学区・地区

連合町内会長に対しまして、編集委員会一同、心より感謝申し上げます、編集後記といたします。

【編集委員長】長門 修二

【編集副委員長】小野 大作

【編集委員】多賀 克充・正保 弘行
竹井 秋人・谷 多賀巳

